

沖縄県、鹿児島県で牛流行熱が発生

発生概要

農場の所在地：沖縄県、鹿児島県（鹿児島県では島しょ以外の発生を含む）

発生状況：沖縄県では3戸4頭（黒毛和種）

鹿児島県では6戸16頭（黒毛和種）

確認までの経緯：本年9月から10月にかけて発生の報告がありました。主な症状は、発熱、元気消失、食欲不振、水様性鼻汁、起立意欲低下～困難等。

牛流行熱（届出伝染病）とは

原因：牛流行熱ウイルス（本ウイルスは、蚊・ヌカカによって媒介されます。）

症状：突発的な発熱、呼吸速迫、流涙、泡沫性流涎、皮下気腫、関節痛、起立困難等。

なお、発症率は一定ではありませんが、死亡率は1%以下とされています。

本病のまん延防止のために

牛流行熱は近年、沖縄県での発生にとどまっています。九州以北では24年間発生がなくワクチン接種率は低い状況です。今年度の蚊等による感染および発生時期（主に8～11月）のピークは過ぎていることから、本県における発生の心配は大きくありませんが、今年度の夏以降に沖縄・九州・中国・四国地方の県から牛を導入されている場合は、今しばらく導入牛の健康観察と上記の症状が疑われる場合の早期通報をお願いします。

健康観察を行い、異状があれば獣医師または家畜保健衛生所に連絡を！

神奈川県湘南家畜保健衛生所

〒259-1215 平塚市寺田縄 345

TEL : 0463-58-0152 FAX : 0463-58-5679

